

事例41

< 事例概要 >

空気塞栓

- ① 70 歳代、パーキンソン病、食道癌に対する化学・放射線療法後、肺化膿症の患者。
- ② 食事摂取可能となったため、約1 か月前に右内頸静脈に挿入した中心静脈カテーテルを抜去予定。
- ③ BMI 17.6 kg/m²。脱水あり。抗血栓薬の使用は無。
- ④ 水平臥床では疼痛、呼吸困難感があるため、仰臥位で頭部を15～20 度挙上した体位で抜去。用手圧迫を3 分間行った後、ガーゼとテープで圧迫固定。頭部を45 度程度挙上していたが、抜去から約40 分後に体位を整えるため一旦水平にし、再度40 度程度に挙上したところ眼球上転、意識レベル低下、呼吸停止。頭部CT で脳の空気塞栓症と診断。搬送し、高気圧酸素治療を行ったが、抜去から約1 週間後に死亡。
- ⑤ 死因は、肺泡出血（疑い）。空気塞栓症が病態に影響を与えた可能性。死亡時画像診断（Ai）有、解剖無。